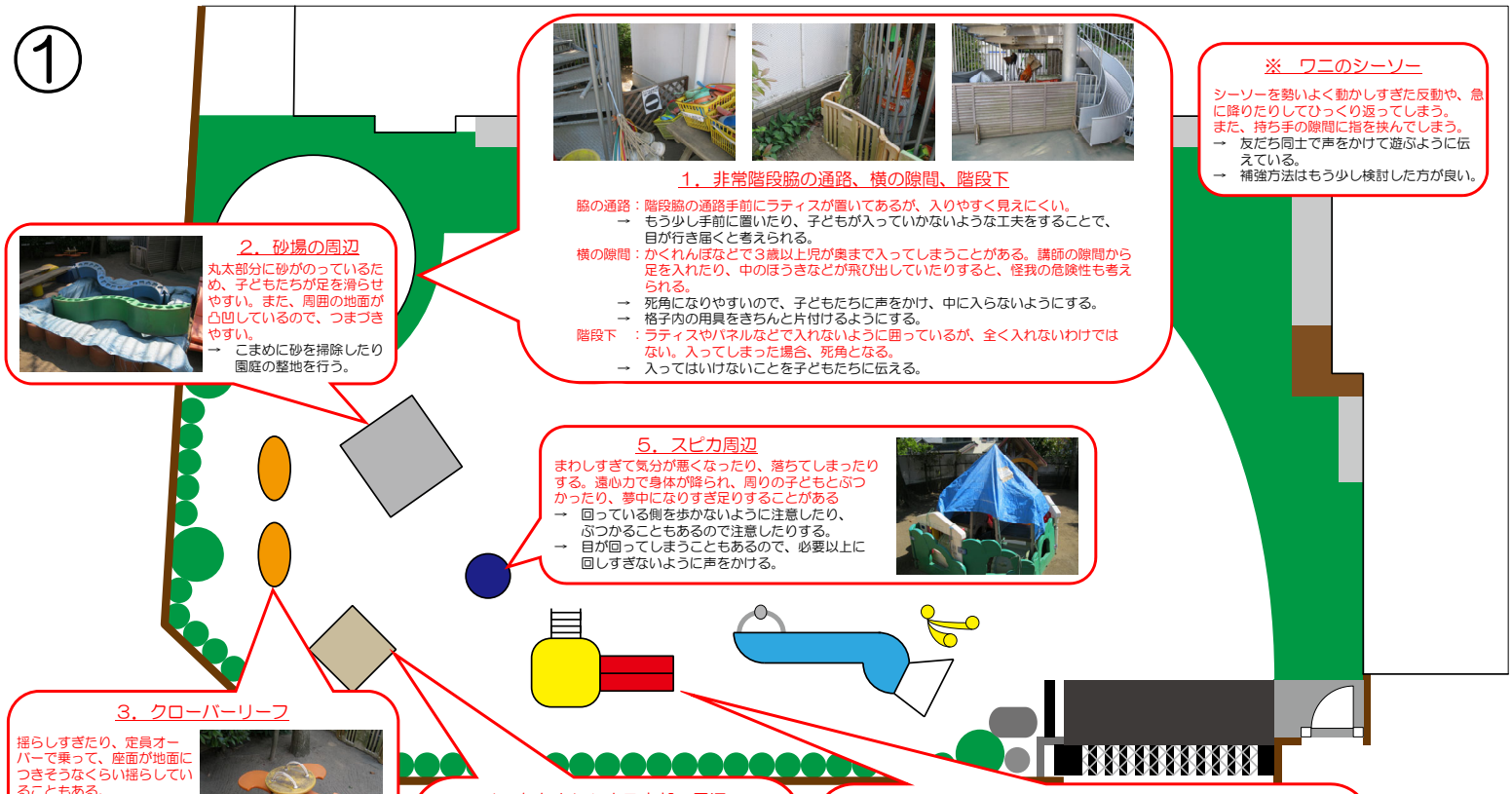
①



1．非常階段脇の通路、横の隙間、階段下

脇の通路：階段脇の通路手前にラティスが置いてあるが、入りやすく見えにくい。
→ もう少し手前に置いたり、子どもが入っていかないような工夫をすることで、目が行き届くと考えられる。
横の隙間：かくれんぼなどで3歳以上児が奥まで入ってしまうことがある。講師の隙間から足を入れたり、中のほうきなどが飛び出していたりすると、怪我の危険性も考えられる。
→ 死角になりやすいので、子どもたちに声をかけ、中に入らないようにする。
→ 格子内の用具をきちんと片付けるようにする。
階段下 ：ラティスやパネルなどで入れないように囲っているが、全く入れないわけではない。入ってしまった場合、死角となる。
→ 入ってはいけないことを子どもたちに伝える。

※ ワニのシーソー

シーソーを勢いよく動かしすぎた反動や、急に降りたりしてひっくり返ってしまう。
また、持ち手の隙間に指を挟んでしまう。
→ 友だち同士で声をかけて遊ぶように伝えている。
→ 補強方法はもう少し検討した方が良い。

2．砂場の周辺

丸太部分に砂がのっているため、子どもたちが足を滑らせやすい。また、周囲の地面が凸凹しているので、つまづきやすい。
→ こまめに砂を掃除したり園庭の整地を行う。

5．スピカ周辺

まわしすぎて気分が悪くなったり、落ちてしまったりする。遠心力で身体が煽られ、周りの子どもとぶつかったり、夢中になりすぎ足りすることがある
→ 回っている側を歩かないように注意したり、ぶつかることもあるので注意したりする。
→ 目が回ってしまうこともあるので、必要以上に回しすぎないように声をかける。

3．クローバーリーフ

揺らしすぎたり、定員オーバーで乗って、座面が地面につきそうなくらい揺らしていることもある。
→ 揺らしすぎないように声をかける。
→ ルールを守って遊ぶよう伝える。

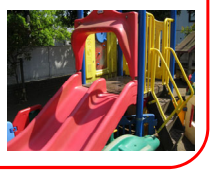
4．なかよしハウス内部・周辺

内部の地面が凸凹しており、狭い空間のため、ちょっとしたつまづきなどで怪我につながりやすい。また、子ども背の高さに屋根のへりがあるため、頭などをぶつけやすい
周囲に大きな石などがあるので、つまづきやすい。

→ 内部、周辺は園庭整備（朝の準備、昼の片づけ）の際に地面をならしておく。屋根の角はクッション材で覆っておく。
→ 近くで走って転ばないように声をかける。

6．すべり台

すべり台の下に入り込んだり、逆から登ろうとして、上から滑ってくる子どもとぶつかりそうになる時もある。鬼ごっこですべり台に逃げてくる子どももいる。階段を上る際に勢いをつけすぎてバランスを崩す時もある。
また、下のいすで遊ぶ際も転ばないように注意する。
→ 前の子どもがいないか確認したり、逆から登ってはいけないことを伝える。
→ 子どもたちに使い方や遊び方を話し、危ないことにも気づけるようにしていく。
→ 椅子をひもで固定したほうがよい。



①	チェック日：	／	／	／	／	／	／	／	／	／	備　考
1	非常階段脇の通路										
	横の隙間										
	階段下										
2	砂場の周辺										
3	クローバーリーフ										
4	なかよしハウス内部										
	なかよしハウス周辺										
5	スピカ周辺										
6	すべり台										
その他	ワニのシーソー										
	ベンチ										
	ユニットサーフ										
	未満児用すべり台										
	園児用サークル										

②

９．水道周辺

水道付近に敷き詰められたブロック部分が濡れていると子どもが滑ったり、頭をぶつけたりする危険性がある。

→ 周囲に子どもたちが近づかないようにしたり、蛇口周辺で遊ばないように注意したりする。
→ 万が一、水が溜まっていることがあるかもしれないので、園庭準備時等に確認しておく。

１１．園庭のくぼみ、ゴムチップと地面の境目

園庭のくぼみ：雨の浸食や園児が掘った穴などがあり、子どもたちが歩いたり、走ったりすると転んだり、つまづいたりする原因となる。
→ 子どもたちに園庭は掘らないよう注意する。
→ 園庭整備のときなど、こまめに整地する。

ゴムチップ　：正面玄関から１歳児入り口のマンホール付近まで段差があり、足を引っ掛けてつまづく危険性がある。
→ 特に３歳以上児が遊んでいる際は気を付ける。
→ 園庭整備の際に、砂で段差を低くするようにする。

８．門扉周辺、門扉の隙間及び掲示板周辺、ベビーカー置き場

門扉周辺　：門の鍵が開いていたり、以上児ともなると鍵を自分で解除したりして、勝手に園外へ出てしまうこともある。
→ 勝手に鍵を開けてはいけないことを子どもたちに言い聞かせると同時に、開けないよう常に気を配っておく。

門扉の隙間：かくれんぼなどで以上児が奥まで入ってしまうことがある。格子の隙間から足を中に入れたり、留め具などが飛び出していたりすると怪我の危険性も考えられる。
掲示板周辺
→ 門と塀の隙間には絶対に入らないように伝える。
→ アスファルト部分、掲示板の下部は危ない場所であることを子どもたちに伝える。

ベビーカー：支援センターの来園者が増えてくると、ベビーカーが多くなり、倒れやすくなったり
置き場　子どもがぶつかったりする。
→ 周辺では遊ばないようにするとともに、ベビーカーが倒れそうだったら整理を行う。

１０．植え込み、椎の木周辺、ごみ箱周辺

植え込み　：子どもの目の高さに枝があり、危ない。
→ 近くにいかないよう目を配らせる。
→ 低い枝をこまめに切る。

椎の木周辺：木の根が出ており、その根につまづいたり、根を使ってフェンスをよじ登ろうとする。
→ 危ないことを子どもたちに伝える。
→ 大きな樹木は根が大きく張り出して育つことを知らせ、遊び方を考える。

ごみ箱周辺：ごみ箱のタイヤのストッパーが出ていたり、裏側に石があったりしているので危ない。
→ 危ない場所であることを子どもたちに伝える。

７．エレメンツ、エレメンツ脇のバナナ

エレメンツ下部の地面が膨ってあったり、段差ができていたりするため転んだり、足を引っかけやすくなったりしている。また、らせん状の降りる棒で降りてくる子どもと、カウンターで遊んでいる子どもがぶつかりそうになる。
エレメンツ脇のバナナ上の遊具と本体との距離が近いため、子どもがバナナの上に立って本体に手を伸ばしたり、ぶら下がったりしている。

→ エレメンツ下部の地面は園庭整備の際に整地しておく。また、子どもたちには掘らないように伝える。
→ 棒をつたって降りてくる子どもとカウンターで遊んでいる子どもがぶつからないように気を付ける。
→ エレメンツ脇のバナナは上に立って遊ぶ遊具ではないことを伝え、十分に気を付ける。

②	チェック日：	／	／	／	／	／	／	／	／	／	備　考
7	エレメンツ										
	エレメンツ脇のバナナ										
8	門扉の隙間、掲示板周辺										
	玄関周辺										
	ベビーカー置き場										
9	水道周辺										
10	植え込み										
	椎の木周辺										
	ごみ箱周辺										
11	ゴムチップと園庭の境目										
	園庭のくぼみ										
その他											
点検者印											
主任印											
園長印											